

ふるさと訪問に参加して

東京中標津会 飯塚 澄子



私はこの度、東京中標津会の一員として、『30周年ふるさと訪問』の機会に恵まれました。定刻より遅れて中標津空港に到着。観光バスに乗り込み、私たちの時間は動き始めました。母校である中標津高校を卒業以来、ほぼ毎年帰省はしていましたが、今回のような帰省は初めてなため窓から見る景色もまた少しいつもと異なっていると感じました。

雪印工場の施設見学を行い、丁寧な説明もしていただきました。余談ではありますが、私は雪印『さけるチーズ』を購入する際は中標津工場産を選んでいきます。

その後向かった記念植樹では、事前に用意をして頂き、私たちは土をかけるだけ……、まるで皇族の待遇のような気分を味わいました(尚、記念植樹の様子は後日『なかしべつ広報日記』に掲載され、その中に偶然私の姿も写っていました)。

ホテル到着後は東京中標津会38名、地元から西村町長を始め議員・町民の皆様52名、総勢1000

名弱の大懇親会が盛大に開催されました。

2日目は霧の知床五湖へ。数キロ先には国後島が手の届くところに見え、果てしなく遠い距離に改めて、北方領土問題の重大さを感じました。標津サーモン科学館では、チョウザメの口に入れるという、一見恐ろしいような体験を味わい、バスの中ではガイドの楽しい話に居眠りをするのを忘れてしまいました。

今回の訪問では、開陽台に訪れる事はできませんでしたが、私は現在住んでいる家に開陽台のポスターを飾っており、広大な景色を写し出す写真は昔と変わらず、町の発展と共にこの景色はいつまでも変わらないうえに、と思っています。

最後に今回の訪問で故郷の皆様にあかく迎えていただき深く感謝申し上げます。これからも故郷中標津で生まれ、育ったことを胸に又いつの日か再び中標津町の一員として生活を思い描きながら帰路につきました。素晴らしい故郷『中標津』がいつまでも悠々に時間を刻み続けることを祈っております。

桜植樹

東京浦河会 会長



中井 保郎

私の所属する東京浦河会は会員相互の親睦を深めることを最大の目的として居ります。が発足以来、私達を育ぐくださった郷里浦河町にささやかながらも恩返ししたいと全会員が考えておりました。町役場とも協議を重ねふるさと納税はもとより、毎年代々木公園では故郷の物産を販売PRして居ります。そして現在最大のテーマは桜植樹であります。我が故郷日高地方には全国に知られた桜の名所が二カ所あります。新ひだか町の「二十間道路の桜並木」と我ら郷里浦河町「優駿桜ロード」です。農林省の軍馬育成牧場として明治時代に開設されました。幅十間の直線道路が3km続き両サイドには3000本程の桜が子供の頃の私達に感動を与えてくれました。桜咲く頃、管内の人々は必ずや一度は行く桜の名所。しかし残念ながら現在は1000本位とのこと。哲学者梅原猛は「文明は水と緑のある土地にのみ繁栄した」と言

う。私達東京浦河会会員は、郷里へのそして後生の人達のサポートとして桜植樹を進めることにしました。小さな桜苗木はエゾ鹿の絶好のエサとなり苗木は、いとも簡単に枯れてしまいます。現在は、5m程に育った「釧路八重桜」を植樹しております。東京浦河会会員の皆様には今後共御協力を賜り桜植樹を更に前進させてゆきたいと考えて居ります。

私達の僅かばかりの心差しが後生の誰かに感動を与えることを願って。



パネル・ディスカッション

『旭川の現実(いま)を知る』

東京旭川会 事務局長 山崎 正之



昨年、第40回記念総会に合わせ、『旭川の現実(いま)を知る』とのテーマでパネル・ディスカッションを行いました。

イスカッションを行いました。狙いは二つ、他の地方都市同様人口減少と高齢化が進み駅前デパートも撤退した故郷旭川の現実に寄り添うこと、同時に、そうした厳しい環境の中でも果

敢に挑戦している地元企業や旭川に進出した在京企業トップにパネラーとして参加いただき、改めて故郷の魅力を知り、彼らの頑張りに勇気を貰い、エールを送ることで、旭川を故郷に持つ喜びを感じよう、という試みです。以下、旭川の魅力を伝えるパネラー3者の発言を抜粋

・老舗旅館扇松園の高橋女将『素晴らしい雪と素晴らしい食事を提供できる立地はお金では買えません。この立地を活かし、旭川良かったね、又、来たいねと思っ頂く為、どうしたら良いか日々思いを巡らし新たな発見に努めています』

・日本を含め6ヶ国でラーメン店を経営している井上社長『出張で東南アジアを巡り旭川に帰ってくる時、こんなに空気が綺麗でおいしいという事に気づかされ幸せを感じます』

・東京でIT企業を経営、旭川で「森林浴メンタルヘルスケア・プログラム」を推進されている眞柄社長『マイクロスフトがシアトル郊外の森の中にあるように、非日常の中で仕事ができる旭川市周辺は働く環境として大変魅力があります』

・パネラーに恵まれ、又、西川市長の参加も得て好評裡に終えることができました。

税理士法人 すずらん

代表社員

公認会計士
税理士

林 敦

白三会(苫小牧東高)東京支部事務局

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北一丁目17番5号

TEL 03-5318-9707 FAX 03-5343-7890

Email: zeirishi-suzuran@pure.ocn.ne.jp

